

Japan, l'archipel de la maison.

Maisons japonaises
contemporaines vues par
un photographe et
des architectes français.

フランス人建築家が驚く
ニッポンの住宅デザイン

休館日 水曜日(ただし5月3日は開館) 開館時間 午前10時より午後6時まで(ご入館は午後5時30分まで)
主催 ㈱パナソニック汐留ミュージアム、朝日新聞社/後援 在日フランス大使館/アンステチュ・フランセ日本、国際交流基金、
在日フランス商工会議所、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本建築家協会、港区教育委員会/企画協力 ㈱ヴェロニク・ウルス
(建築家)、ジェレミ・ステラ(写真家)、マニエル・タルディツ(建築家)、ファビアン・モデュイ(建築家) 会場構成 ① 住宅展 ② 住宅展
入館料 一般 800円、65歳以上 700円、大学生 600円、中・高校生 200円、小学生以下無料 20名以上の団体は1000円
割引。障がい者手帳をご提示の方および付添者1名まで無料で入館いただけます。



2017.
4.8 SAT - 6.25 SUN

日本、
家の
列島

5月18日(木)
国際博物館の日は、
すべての方が
無料です

ヨーロッパ巡回帰国展

Shiodome Museum | ROUAULT GALLERY

パナソニック 汐留ミュージアム

〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階

お問い合わせ NTTハローダイヤル 03-5777-8600

公式HP=<http://panasonic.co.jp/es/museum>

<http://panasonic.co.jp/es/museum>

注目住宅建築 約70件を、
写真、模型、映像、フロアリング等で一挙紹介!



日本、家の列島

Japon, l'archipel de la maison.

フランス人建築家が驚く
ニッポンの住宅デザイン

Maisons japonaises contemporaines vues par
un photographe et des architectes français.

あなたは今をときめく、日本で注目の建築家に家を建ててもらいたいと思ったことはありませんか？
厳しい制約や難しい条件のもとでも、必ず答えをかたちにしてくれるのが建築家。しかもユニークで新鮮な造形のなかには、日本ならではの感性と住まいの伝統が息づき、あなたの理想の生活を実現してくれるでしょう——そんなメッセージをひそませて、パリやブリュッセル、アムステルダムなどの各都市でヨーロッパの人々を驚かせた、注目の展覧会の巡回帰国展です。企画を実現させたのは写真家のジェレミ・ステラに加え、建築家のヴェロニック・ウルスとファビアン・モデュイ、日本在住30年のマニュエル・タルディッツの4人のフランス人。彼らは日本の近現代の住宅建築から優れた作品を複眼的な視点で独自に選定し、提示しました。戦後社会の成長の一翼を担ってきた日本の住宅建築——この展覧会は多数の魅力的な写真や映像、ドローイング、スケッチ、模型を展示し、それら歴史的な名作住宅から最近の秀作まで約70作品をご紹介します。またゲストアーティストに坂口恭平が加わり、彼の頭の中に建ち広がる街と家のイメージを、極細ペンで表したドローイングが展示されます。

日本、家の列島——ここには、家の数だけ新しい生活と幸せがあります。ぜひご覧ください。



- 表面上 河内一泰/ハウスkn/2006年
表面上 中山英之/O邸/2009年
表面上 福井県にて/2012年7月、世田谷区の屋上から
新宿の高層ビル群をのぞむ/2012年2月5日
- 1 妹島和世/梅林の家/2003年
 - 2 隈研吾/鉄の家/2007年
 - 3 安藤忠雄/住吉の長屋/1976年(撮影:安藤忠雄)
 - 4 吉村靖孝/窓の家/2013年
 - 5 坂茂/羽根木公園の家-景色の道/2011年
 - 6 マニュエル・タルディッツ/カタ邸/2007年/(スケッチ)
 - 7 ポワティエ建築会館での展示の様子/2014年
 - 8 坂口恭平《Dig-Ital City Prototype》
2008年(参考図版)/協力:セゾンアートワークス

表面および裏面1、2、4、5、7は撮影:ジェレミ・ステラ



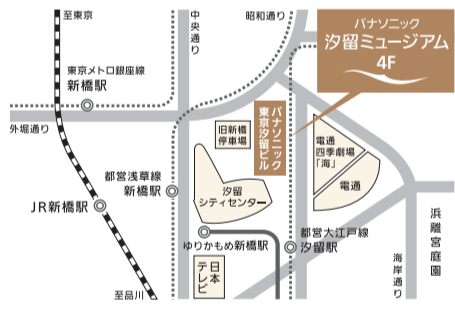
家にちなんだ日限定、
もれなくプレゼント!

みかんぐみによる本展限定の特製
「うちのペーパークラフト」を、家にちなんだ
よいいえ よいルーム よいハウス
4月11日(火)、4月16日(日)、4月18日(火)、
ごはん おふろ
5月8日(月)、5月26日(金)にご来館下さった
皆様に差し上げます。(お一人様一枚)

事前にアプリを入手! 会場では光にスマホをかざすだけ!

LinkRay 会場では、パナソニックのLinkRay (光IDソリューション)がご利用いただけます。

解説パネルをご自分のスマートフォンで、さらに楽しめる最新技術を導入しています。



Shiodome Museum | ROUAULT GALLERY
パナソニック 汐留ミュージアム

交通のご案内 JR「新橋」駅より徒歩約8分、東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分、都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分
〒105-8301東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階

展覧会公式カタログ『日本、家の列島』出版:鹿島出版会 会期中当館ミュージアムショップのほか、全国の書店とインターネットでも4月発売予定

1 展覧会記念講演会「ここがすごい!ニッポンの住宅建築」

「日本、家の列島」ヨーロッパ巡回展を実現した4人のフランス人を魅了してやまない日本の住宅建築とは? 日本を代表する建築家と建築史家を迎えて語り合う。(通訳付き)

[出演] 伊東豊雄(建築家) [モデレーター] 五十嵐太郎(東北大学教授)
[本展企画協力メンバー] ヴェロニック・ウルス、ジェレミ・ステラ、マニュエル・タルディッツ、ファビアン・モデュイ

- 4月8日(土) 午後1時30分~午後3時(開場午後1時)
- パナソニック東京汐留ビル5階ホール 要予約(定員150名) 聴講は無料ですが、本展の観覧券が必要です。

申し込み方法 講演会はハローダイヤル 03-5777-8600へお電話にてお申込ください。
1月16日(月)より受付開始(受付時間 午前8時~午後10時) **必要事項** ①イベント名 ②参加人数(一度にお申し込み頂ける人数は2名まで) ③氏名(要参加希望者) ④住所 ⑤電話番号
●簡単なアンケートにご協力いただけます。●受付は先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。●お申し込み時にいただいた個人情報は、本イベントの受講管理の目的でのみ使用します。なお、お預かりした個人情報は、上述の目的での使用に同意いただいたものとさせていただきます。●定員に達しなかった場合、当日受付をする場合があります。●未就学児はご遠慮ください。

3 坂口恭平によるドローイング公開制作

本展ゲストアーティストの坂口恭平が、みなさまの目の前で「日本、家の列島」に着想を得た壁面を描きます。
4月16日(日)午前11時~午後4時 展覧会場内
予約不要、参加無料(本展の観覧券が必要です)

4 学芸員によるギャラリートーク

4月23日(日)、5月26日(金)
各午後2時~
展覧会場内、予約不要、
参加無料(本展の観覧券が必要です)

2 本展参加建築家によるギャラリートーク

いま話題の建築家たちにご自身の作品を語っていただきます。さらに会場内の小さなおうちのなかで、住宅デザインについて気軽に質問いただける絶好のチャンスが設けられます。各午後3時~午後4時 展覧会場内、予約不要、参加無料(本展の観覧券が必要です)

- 4月
 - 14日(金) 堀部安嗣(堀部安嗣建築設計事務所)
 - 15日(土) 柳澤潤(コンテンツボラリーズ) + マニュエル・タルディッツ(みかんぐみ)
 - 21日(金) 河内一泰(河内建築設計事務所)
 - 22日(土) 手塚由比(手塚建築研究所)
 - 24日(月) 中山英之(中山英之建築設計事務所)
 - 28日(金) 前田圭介(UID一級建築士事務所)
 - 29日(土) 吉村靖孝(吉村靖孝建築設計事務所)
- 5月
 - 1日(月) 川本敦史+川本まゆみ(エムエースタイル建築計画)
 - 12日(金) 五十嵐淳(五十嵐淳建築設計事務所)
 - 19日(金) 山下保博(アトリエ・天工人)
 - 20日(土) 菅原大輔(SUGAWARADAISUKE)
 - 27日(土) 塚本由晴+貝島桃代(アトリエ・ワン)
- 6月
 - 2日(金) 西田司+萬玉直子(オンデザインパートナーズ)
 - 3日(土) 長谷川豪(長谷川豪建築設計事務所)
 - 10日(土) 谷尻誠+吉田愛(SUPPOSE DESIGN OFFICE)
 - 17日(土) 西沢大良(西沢大良建築設計事務所)

会場が混雑した場合、人数制限することもあります。

関連イベント

同時開催 なお、ルオーギャラリーにて、当館所蔵のルオー・コレクションの中から作品を展示しております。併せてご覧ください。

次回予告 AMBIENT 深澤直人がデザインする生活の周囲 2017年7月8日(土)~10月1日(日)

公式HP <http://panasonic.co.jp/es/museum>